

日本版C-TPAT(仮称)の推進

国際物流におけるセキュリティの強化と効率化を通じ、我が国の競争力の強化を図るため「日本版C-TPAT (Customs-Trade Partnership Against Terrorism) ()」(仮称)を推進。経団連からの要望等を踏まえ、輸入、輸出及び保税の各制度につき、以下のような措置を講ずる。

()税関・民間共同のセキュリティ強化と物流円滑化の両立策。

[今回答申]

輸入

税関長の承認を受けたコンプライアンスの優れた輸入者について、承認要件を見直した上で、貨物の到着前の輸入申告を可能にする。事後の納税申告の一括化を認める。

輸出

税関長の承認を受けたコンプライアンスの優れた輸出者について、輸出申告の申告先官署を弾力化する。

保税

税関長の承認を受けたコンプライアンスの優れた保税蔵置場等の被許可者について、税関長の指定を受けることにより、新たに保税蔵置場等の設置を可能とする。